

今月の推薦句

山田真砂年

青くるみ死者は生者の内にのみ

北原昭子

駒草や峠の溶岩に手を突いて

今村博子

閻魔大王赤き口より溽暑かな

沼田布美

ペン胼胝がなかなか消えず原爆忌

上田信隆

近道のつもりが迷ひ秋の暮

小見戸 実

切れかけの電灯のごと雷の空

飛田小馬々

百日草週に二回は肉を食ひ

滝代文平

夏蝶の平らに渡る浜御殿

牧園 賀

黒揚羽くらくら空を歪めたる

中村かりん

自販機のぶんぶん鳴つて夏旺ん

関口敦子

母知らぬ所で桑の実食べて来し

浜田優子

句作りは水草の花ゆれ動く

細井恵子

梅花藻の瞬きせずに揺れてをる

大坪正美

水を打つ人の眩しく草田男忌

久保千恵子

ひとことの残暑見舞いや「生きてるか」

高田 峰

乗り越して刈田日和や小諸宿

矢代靖子

八月の防火扉の重さかな

林 恵美子

蛸壺に入らば妙案浮かぶやも

戸上晶子

雨の子のごとく現る蝸牛

深野 怜

おけら鳴く存外長く鳴き通す

石関二三子